

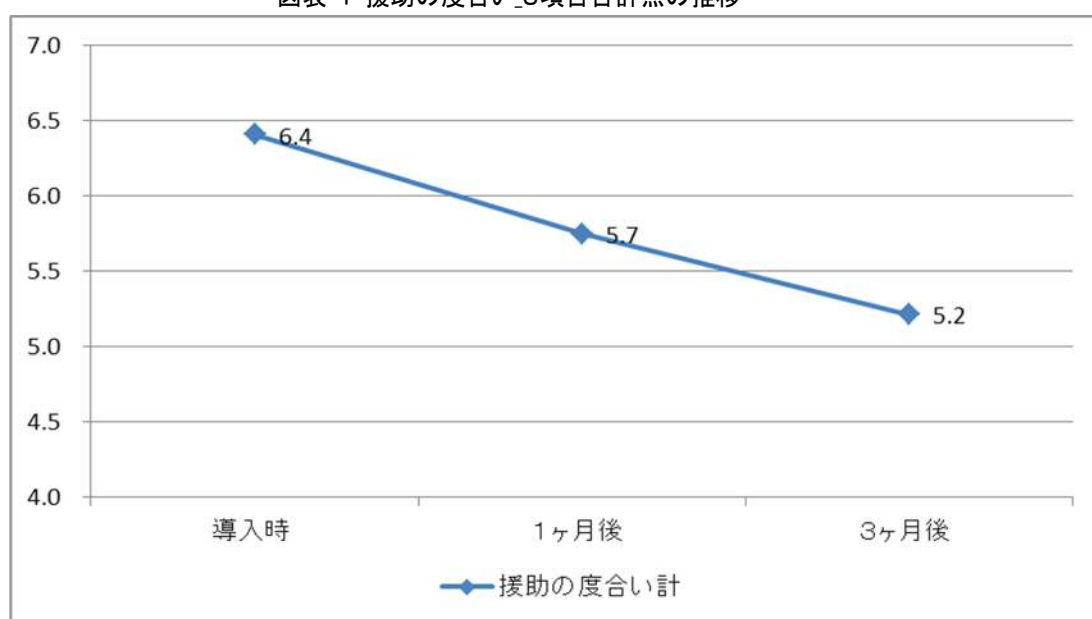
3 調査の結果

(1) 利用者への援助の状況について

福祉用具利用者に対する援助の状況は、8項目の援助項目について、援助の度合いを「自立」0点、「見守り・観察」1点、「一部援助」2点、「大部分援助」3点、「全面援助」4点までの5段階で点数化し、調査時点ごとに各点数の回答数で重みづけした加重平均の変化を、3回の調査時点で観察した。

3時点の点数を比較可能な8項目の加重平均の合計点をみると、導入時6.4から3ヶ月後は5.2へ減少し、全体としては自立の方向へ援助の度合いが低下したことを示している。

図表 1 援助の度合い_8項目合計点の推移



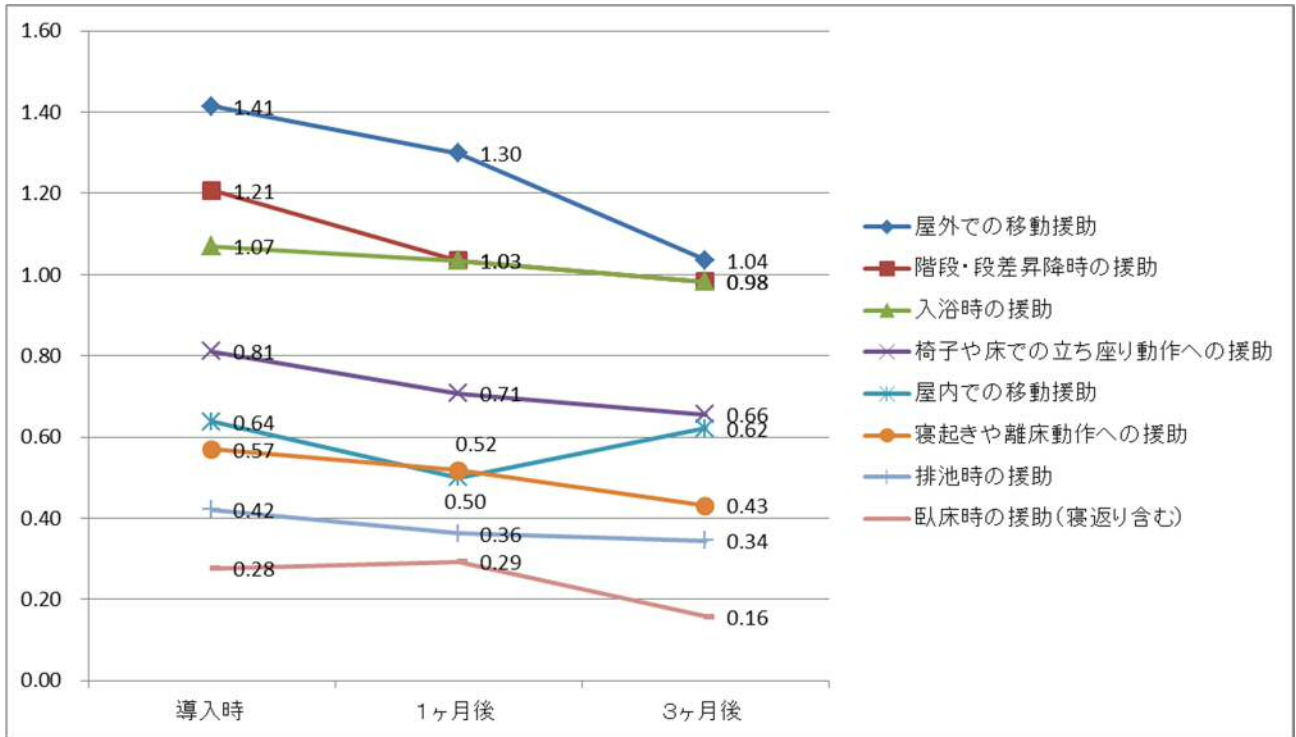
注)点数が減少するほど援助状態は軽減

項目別の点数の推移は図表2に示すとおりである。8項目中7項目で点数の減少（援助状態の軽減）が見られた。とくに屋外での移乗援助で援助状態軽減の方向への変化が大きかった。項目別の変化は以下に整理したとおりである。

図表 2 援助の度合い_項目別点数の推移

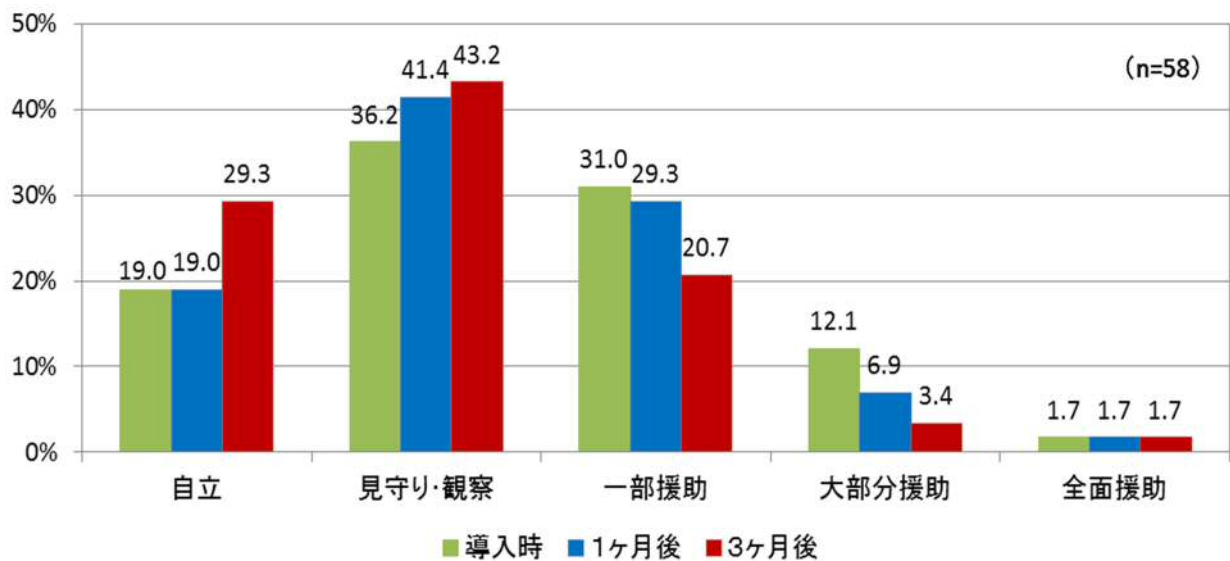
援助の項目	導入時	1ヶ月後	3ヶ月後
寝起きや離床動作への援助	0.6	0.5	0.4
椅子や床での立ち座り動作への援助	0.8	0.7	0.7
屋内での移動援助	0.6	0.5	0.6
入浴時の援助	1.1	1.0	1.0
排池時の援助	0.4	0.4	0.3
階段・段差昇降時の援助	1.2	1.0	1.0
屋外での移動援助	1.4	1.3	1.0
臥床時の援助(寝返り含む)	0.3	0.3	0.2
合計	6.4	5.7	5.2

図表 3 援助の度合い_項目別点数の推移(グラフ)



点数の変化の大きかった「屋外での移動援助」について設問への回答の内訳変化をみると、導入時調査で「自立」の回答が19.0%だったが、3ヶ月後調査では29.3%に増えた。「大部分援助」「一部援助」が減少し、回答全体が自立方向へシフトした。

図表 4 援助の度合い_7 屋外での移動援助



「会話や団樂の増加」「外出の頻度の増加」については導入時の状態を基準として、そこからの変化を「大いに増えた」0点、「少し増えた」1点、「変わらない」2点、「少し減った」3点、「大幅に減った」4点までの5段階で点数化した。

会話、団樂の増加指数は 1.7→1.7 で変化はないが、いずれも「変わらない」(2.0) よりも低い点数であり、前回記録時よりも「少し増えた」が継続していることを示している。外出頻度の増加指数は 1.8→1.7 へ減少した。いずれも「変わらない」(2.0) よりも低い点数であり、前回記録時よりも「少し増えた」が継続していることを示している。

図表 5 「会話や団樂の増加」「外出の頻度の増加」の推移

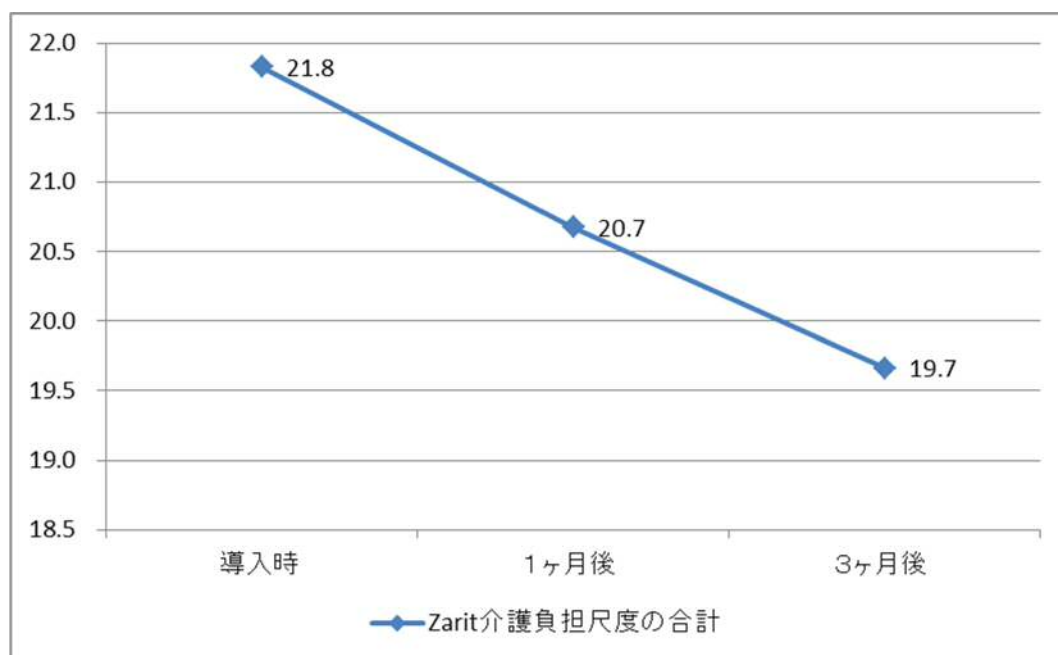
援助の項目	導入時	1ヶ月後	3ヶ月後
会話や団樂などの増加	—	1.7	1.7
外出の頻度の増加	—	1.8	1.7
合計	—	3.5	3.4

(2) Zarit 介護負担尺度

Zarit 介護負担尺度の 22 項目についても、負担に思う度合いを「思わない」0 点、「たまに思う」1 点、「時々思う」2 点、「よく思う」3 点、「いつも思う」4 点の 5 段階で点数化した。調査時点ごとに各点数の回答数で重みづけし、加重平均の変化を 3 回の調査時点で観察した。また、3 時点での状況の変化をグラフで示した。

22 項目の加重平均の合計点をみると、導入時 21.8 から 3 ヶ月後は 19.7 へ減少し、全体としては負担が軽減される方向へ変化したことがわかる。

図表 6 Zarit 介護負担点数の推移



注)点数が減少するほど介護負担は軽減

1 回目調査から 3 回目調査にかけての点数の変化をみると、3 か月の福祉用具利用期間を通じて、22 の設問項目中で、負担感を感じない（そう思わない）方向へシフトした項目が 14 項目（項目番号 1. 2. 3. 4. 7. 8. 9. 12. 15. 16. 17. 18. 19. 20.）、負担感を感じる（そう思う）方向へシフトした項目が 2 項目（同 5. 13.）、シフトの傾向が見られなかった項目が 6 項目（同 6. 10. 11. 14. 21. 22.）あった。負担感を感じない（そう思わない）方向へシフトした項目が半数を超えており、全体としては負担感を感じない方向へ変化したと考えられる。また、1 回目での負担感点数が比較的高かった項目（7, 8, 14, 22）は、3 回目では 7, 8 が低下、14, 22 が維持であった。項目別の傾向は以下の表に示したとおりである。

図表 7 Zarit 介護負担_項目別点数の推移

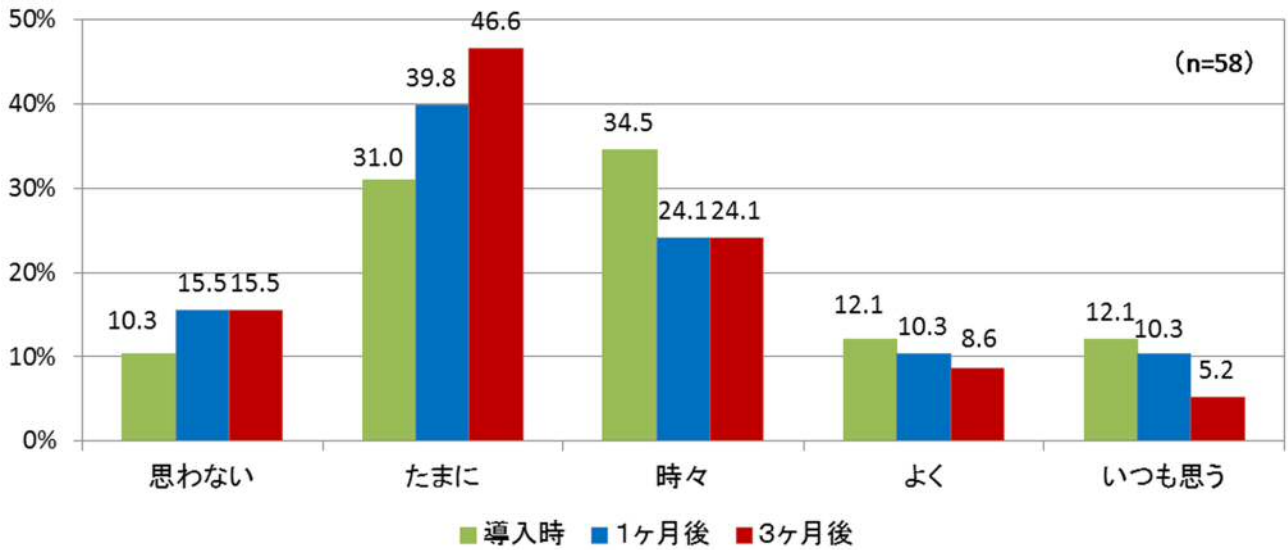
質問項目	導入時	1ヶ月後	3ヶ月後
1. 患者さんは、必要以上に世話を求めてくると思いますか	0.8	0.7	0.7
2. 介護のために自分の時間が十分にとれないと思いますか	1.1	1.0	1.0
3. 介護のほかに、家事や仕事などもこなしていかなければならず「ストレスだな」と思うことがありますか	1.2	1.2	1.0
4. 患者さんの行動に対し、困ってしまうと思うことがありますか	1.1	0.9	0.9
5. 患者さんのそばにいると腹がたつことがありますか	0.8	0.8	0.9
6. 介護があるので家族や友人と付き合いづらくなっていると思いますか	0.7	0.8	0.7
7. 患者さんが将来どうなるのか不安になることがありますか	1.8	1.6	1.4
8. 患者さんがあなたに頼っていると思いますか	2.1	1.8	1.8
9. 患者さんのそばにいて、気が休まらないと思いますか	0.9	0.9	0.8
10. 介護のために、体調を崩したと思ったことがありますか	0.4	0.4	0.4
11. 介護があるので自分のプライバシーを保つことができないと思いますか	0.4	0.4	0.4
12. 介護があるので自分の社会参加の機会が減ったと思うことがありますか	0.9	1.0	0.7
13. 患者さんが家にいるので、友達を自宅に呼びたくても呼べないと思ったことがありますか	0.5	0.7	0.6
14. 患者さんは「あなただけが頼り」というふうにみえますか	1.6	1.5	1.6
15. 今の暮らしを考えれば、介護にかかる金銭的な余裕はないと思うことがありますか	1.2	0.9	0.9
16. 介護にこれ以上の時間はさけないと思うことがありますか	0.8	0.9	0.7
17. 介護が始まって以来、自分の思い通りの生活ができなくなったと思うことがありますか	1.1	1.2	1.0
18. 介護を誰かに任せたいと思うことがありますか	0.6	0.7	0.5
19. 患者さんに対して、どうしていいかわからないと思うことがありますか	0.8	0.7	0.6
20. 自分は今以上にもっと頑張って介護するべきだと思うことがありますか	1.0	0.8	0.8
21. 本当は自分をもっとうまく介護できるのになあと思うことがありますか	0.6	0.5	0.6
22. 全体を通してみると、介護をするということはどうくらい自分の負担になっていると思いますか	1.4	1.2	1.4
合計	21.8	20.7	19.7

変化の傾向が見やすい項目に着目してみると、「7. 患者さんが将来どうなるのか不安になることがありますか」では、負担感の点数は 1.8→1.4 へ軽減している。回答の内訳をみると導入時調査で「思わない」が 10.3%だったが、3ヶ月後調査では 15.5%に増えた。「たまに思う」も増加し、全体で負担感軽減の方向へ変化した。(図表 8)

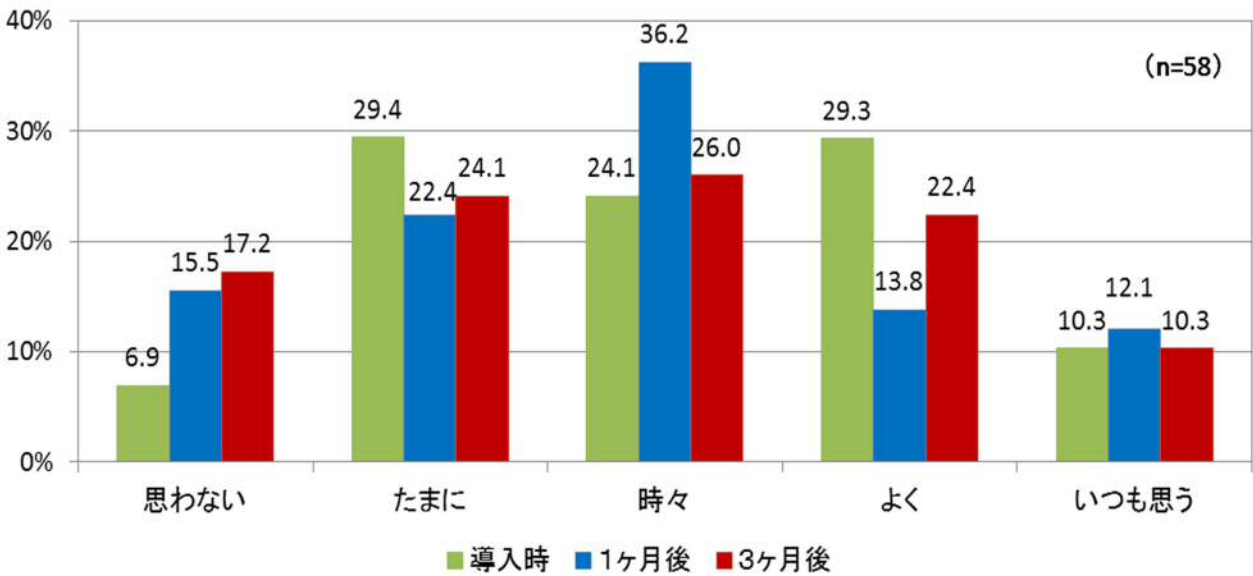
「8. 患者さんがあなたに頼っていると思いますか」では、負担感の点数は 2.1→1.8 へ軽減した。導入時調査で「思わない」が 6.9%だったが、3ヶ月後調査では 17.2%に増えた。「よく思う」が減少し、全体に負担感軽減の方向へ少しシフトした。(図表 9)

「15. 今の暮らしを考えれば、介護にかかる金銭的な余裕はないと思うことがありますか」では、負担感の点数は 1.2→0.9 へ軽減した。導入時調査で「思わない」が 39.7%だったが、3ヶ月後調査では 51.7%に増加した。「たまに思う」も増加する一方で「時々思う」「よく思う」が減少し、全体に負担感軽減の方向へシフトした。(図表 10)

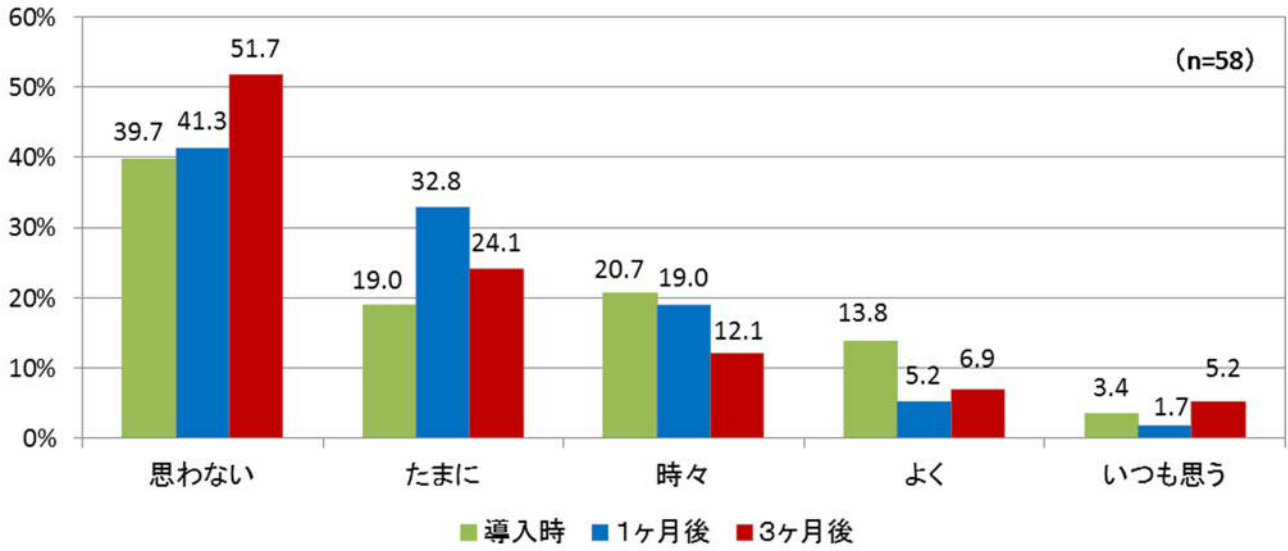
図表 8 7. 患者さんが将来どうなるのか不安になることがあるか



図表 9 8. 患者さんがあなたに頼っていると思うか



図表 10 15 介護にかかる金銭的な余裕はないと思うか



(3) 介護負担軽減の事例

本調査で観察対象とした58ケースは、全体としては援助の状態が改善し、介護負担も軽減される傾向が見られたが、その改善事例の概要を以下に示しておく。個々のケースを見ても、援助の状況が改善し、併せて介護負担が軽減されている例が多い。

援助の状況改善あるいは介護負担が軽減した事例

性別	年齢	要介護度	福祉用具	改善の内容
男性	89歳	要支援2	車いす（電動四輪車）	電動車いす利用で外出頻度増。介護負担も「思わない」が18項目から21項目へ増加し、負担軽減方向へシフトした。
女性	95歳	要支援2	車いす、手すり	援助の状況では「見守り・観察」が3項目→5項目へ増加。介護負担も「よく」「時々」9項目中5項目が「たまに」へ移行し、負担軽減方向へシフトした。
男性	65歳	要支援2	車いす、歩行器	援助の状況は変化がないが、介護負担は「思わない」が4項目→15項目へ増加し、介護負担の全体評価は「世間並」が「まったく負担ではない」へ大幅に軽減した。
女性	88歳	区分変更申請中	歩行器	屋外での移動援助が「見守り」→「自立」へ改善し、介護負担も「時々」10項目中8項目は「たまに」へ改善。全体評価での負担感も「世間並」が「多少負担」に改善した。
女性	66歳	要支援2	歩行器	援助の状況では「自立」が5項目→7項目へ増加。介護負担も「時々」5項目中4項目は「たまに」へ改善した。
女性	85歳	要支援1	手すり、段差解消	援助の状況は変化がないが、介護負担は「思わない」が4項目→6項目へ増加する一方、「社会参加機会が減ったと思う」「友達を自宅に呼びたくても呼べない」など「いつも思う」4項目→0項目へ減少し、負担軽減方向へシフトした。
女性	77歳	要支援2	手すり、シャワーチェア	援助の状況では「見守り・観察」4項目がいずれも「自立」へ、外出頻度も「大幅に減った」から「少し増えた」へ改善した。介護負担も「思わない」が2項目→5項目へ増加し負担軽減方向へシフトした。
女性	78歳	要支援1	手すり、スロープ	入浴援助が「一部援助」→「見守り・観察」、排泄援助が「見守り・観察」→「自立」へ改善。介護負担全体も「世間並」から「多少負担」へ軽減方向へシフトした。
女性	79歳	要支援2	手すり	援助の状況では「自立」が3項目→5項目へ増加。外出頻度も「少し増えた」へ改善した。介護負担も「自分の時間が取れない」「患者さんがあなた頼っている」の2項目が負担軽減方向へシフトした。
女性	78歳	要介護2	手すり	援助の状況では「自立」が2項目→4項目へ増加した。

性別	年齢	要介護度	福祉用具	改善の内容
女性	79歳	要支援2	手すり	援助の状況では「見守り・観察」6項目中の2項目が「自立」となり、介護負担もいくつかの項目が「いつも思う」→「よく」あるいは「よく」→「たまに」など負担軽減方向へシフトした。
女性	78歳	要介護2	手すり(簡易型)、移動用リフト(昇降座いす)、歩行器(固定式)	援助の状況では「自立」が0項目→7項目へ大幅に増加。会話・団欒、外出頻度も増加した。介護負担も「思わない」が5項目→18項目へ増加し負担軽減方向へシフトした。全体評価での負担感も「世間並」が「多少負担」に改善した。
男性	66歳	要介護2	特殊寝台	介護負担で「思わない」が15項目→19項目へ増加し負担軽減方向へシフトした。
男性	74歳	要介護3	特殊寝台	会話・団欒、外出頻度も増加し、介護負担も「思わない」が0項目→3項目へ増加し、負担軽減方向へシフトした。

(4) 就業状況と負担感の関係

最後に現在の就業状況と負担感の関係を見ておく。現在就業している記入者（介護者）が約 30%で、福祉用具利用者（介護対象者）は母親 31.6%、夫 31.5%、その他（主に義母）21.1%が多い。就業していない記入者（介護者）は約 60%であるが、福祉用具利用者（介護対象者）は妻 42.8%、夫 34.3%が多い。

図表 11 記入者から見た福祉用具利用者との関係（現在の就業状況別）

	合計	3ヶ月後調査時							
		夫	妻	父親	母親	祖父	祖母	その他	無回答
全体	58	19	18	2	13	0	0	6	0
	100.0%	32.9%	31.0%	3.4%	22.4%	0.0%	0.0%	10.3%	0.0%
就業している	19	6	2	1	6	0	0	4	0
	100.0%	31.5%	10.5%	5.3%	31.6%	0.0%	0.0%	21.1%	0.0%
就業していない	35	12	15	1	5	0	0	2	0
	100.0%	34.3%	42.8%	2.9%	14.3%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%
無回答	4	1	1	0	2	0	0	0	0
	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

現在の就業状態と負担感の関係をクロス集計でみると、ほとんどの項目では「就業している」人のほうが「就業していない」人よりも「そう思わない」（負担感を感じない）の回答率が高い。

このうち「そう思わない」の回答が、導入時調査時点で「就業している」と「就業していない」の回答差が 10%以上開いていた項目が以下の 9 項目である。このうち 7 項目は 3 ヶ月後調査でも 10%以上の回答差があり、社会的関係性を含む負担感の項目が上がってきている傾向がみられる。また、9 項目のうち 1 回目の介護負担点数が比較的高い項目（4、12、14、15、19、20）では 3 ヶ月後の点数が減少（項目 14 は維持）しているが、項目 12、14、15、19 では就業している介護者の方が、介護負担点数の軽減が大きい傾向が見られた。

就業していることでの「社会とのかかわり」、あるいは福祉用具利用による負担軽減効果が大きくなる傾向が推察される。内閣府の「平成 26 年版高齢社会白書」によると家族の介護や看護を理由とした離職・転職者数は平成 23（2011）年～24（2012）年の 1 年間で 10,000 人を越えている。国が進める「一億総活躍社会」の実現のためにも、また 2025 年に向けた地域包括ケアシステムの構築のためにも、これらの人たちが離職せずに、働き続けることこそが求められる。本調査では調査対象者が少ないため、断言するには至らないが「就業している」人の方が、「負担感を感じない」回答の割合が高いことから、就業している介護家族が、より福祉用具利用による負担軽減効果を感じたのかもしれない。今後は、介護離職防止の観点から、福祉用具の導入を行い、その効果を検証することも必要である。

図表 12 就業状態による回答差(項目別)

	就業しているか、いないかで、「そう思わない」の導入時の回答差が大きい質問項目	3ヶ月後調査でも差が大きい項目	「就業している」-「していない」の回答差(%)		
			導入時	1ヶ月後	3ヶ月後
4	患者さんの行動に対し、困ってしまうと思うことがありますか。		16.8	1.7	-6.6
10	介護のために、体調を崩したと思ったことがありますか。	○	12.4	12.8	13.2
11	介護があるので自分のプライバシーを保つことができないと思いますか。	○	14.7	-8.0	12.8
12	介護があるので自分の社会参加の機会が減ったと思うことがありますか。	○	13.5	9.0	16.9
14	患者さんは「あなただけが頼り」というふうにみえますか。	○	11.4	25.7	21.7
15	今の暮らしを考えれば、介護にかかる金銭的な余裕はないと思うことがありますか。	○	11.2	4.4	30.8
19	患者さんに対して、どうしていいかわからないと思うことがありますか。		24.2	-9.1	0.8
20	自分は今以上にもっと頑張って介護するべきだと思うことがありますか。	○	13.7	11.7	20.4
21	本当は自分をもっとうまく介護できるのになあと思うことがありますか。	○	10.0	7.8	19.9

上記以外では以下の項目が3ヶ月後調査の回答差が10%以上に拡大した。これは、就業している方が、福祉用具を利用した介護生活のパターンが定着してくることで負担感が緩和されてきたと考えられる。

	「そう思わない」の3ヶ月後調査の回答差が大きい質問項目	「就業している」-「していない」の回答差(%)		
		導入時	1ヶ月後	3ヶ月後
13	患者さんが家にいるので、友達を自宅に呼びたくても呼べないと思ったことがありますか。	-9.2	15.5	15.7

全項目の総括となる「22.全体を通してみると、介護をするということはどれくらい自分の負担になっていると思いますか。」についての介護負担度点数は、導入時調査から1ヶ月後調査にかけては1.4→1.2と軽減しているが、3ヶ月後では1.4に戻っている。この間、「就業している」介護者の点数は1.3→1.1へ軽減されたが、「就業していない」介護者の点数は1.3→1.5へ増加している。ここでも「就業している」介護者に負担軽減の効果が大きい傾向が見られた。

以下では、ここで取り上げた項目の回答経過を示しておく。

4.患者さんの行動に対し、困ってしまうと思うことがありますか。

	導入時							1ヶ月後							3ヶ月後							
	合計	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	導入時 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	1ヶ月後 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	3ヶ月後 平均点
全体	58	20	23	10	1	4	0	1.1	25	19	10	4	0	0	0.9	26	18	10	2	2	0	0.9
	100.0%	34.5%	39.7%	17.2%	1.7%	6.9%	0.0%		43.1%	32.8%	17.2%	6.9%	0.0%	0.0%		45.0%	31.0%	17.2%	3.4%	3.4%	0.0%	
就業している	19	9	5	5	0	0	0	0.8	9	6	4	1	0	0	0.9	8	6	4	1	0	0	0.9
	100.0%	47.4%	26.3%	26.3%	0.0%	0.0%	0.0%		45.0%	30.0%	20.0%	5.0%	0.0%	0.0%		42.0%	31.6%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%	
就業していない	36	11	16	4	1	4	0	1.2	16	12	6	3	0	0	0.9	17	11	4	1	2	0	0.9
	100.0%	30.6%	44.4%	11.1%	2.8%	11.1%	0.0%		43.3%	32.4%	16.2%	8.1%	0.0%	0.0%		48.6%	31.4%	11.4%	2.9%	5.7%	0.0%	

10.介護のために、体調を崩したと聞いたことがありますか。

	導入時							1ヶ月後							3ヶ月後							
	合計	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	導入時 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	1ヶ月後 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	3ヶ月後 平均点
全体	58	41	12	4	1	0	0	0.4	38	16	4	0	0	0	0.4	40	13	4	1	0	0	0.4
	100.0%	70.7%	20.7%	6.9%	1.7%	0.0%	0.0%		65.5%	27.6%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%		69.0%	22.4%	6.9%	1.7%	0.0%	0.0%	
就業している	19	15	2	2	0	0	0	0.3	15	4	1	0	0	0	0.3	15	3	1	0	0	0	0.3
	100.0%	79.0%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%		75.0%	20.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%		78.9%	15.8%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
就業していない	36	24	10	1	1	0	0	0.4	23	12	2	0	0	0	0.4	23	9	3	0	0	0	0.4
	100.0%	66.6%	27.8%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%		62.2%	32.4%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%		65.7%	25.7%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	

11.介護があるので自分のプライバシーを保つことができないと思いますか。

	導入時							1ヶ月後							3ヶ月後							
	合計	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	導入時 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	1ヶ月後 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	3ヶ月後 平均点
全体	58	43	9	3	3	0	0	0.4	40	13	3	1	1	0	0.4	43	9	4	2	0	0	0.4
	100.0%	74.1%	15.5%	5.2%	5.2%	0.0%	0.0%		69.0%	22.4%	5.2%	1.7%	1.7%	0.0%		74.2%	15.5%	6.9%	3.4%	0.0%	0.0%	
就業している	19	16	1	1	1	0	0	0.3	13	5	1	0	1	0	0.6	16	2	0	1	0	0	0.3
	100.0%	84.1%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%		65.0%	25.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%		84.2%	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	
就業していない	36	25	7	2	2	0	0	0.5	27	7	2	1	0	0	0.4	25	6	3	1	0	0	0.4
	100.0%	69.4%	19.4%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%		73.0%	18.9%	5.4%	2.7%	0.0%	0.0%		71.4%	17.1%	8.6%	2.9%	0.0%	0.0%	

12.介護があるので自分の社会参加の機会が減ったと思うことがありますか。

	導入時							1ヶ月後							3ヶ月後							
	合計	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	導入時 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	1ヶ月後 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	3ヶ月後 平均点
全体	58	28	15	7	5	2	1	0.9	28	14	7	8	1	0	1.0	33	11	10	4	0	0	0.7
	100.0%	48.3%	25.9%	12.1%	8.6%	3.4%	1.7%		48.3%	24.1%	12.1%	13.8%	1.7%	0.0%		56.9%	19.0%	17.2%	6.9%	0.0%	0.0%	
就業している	19	11	3	2	2	1	0	0.9	11	3	2	4	0	0	1.0	13	1	4	1	0	0	0.6
	100.0%	57.9%	15.8%	10.5%	10.5%	5.3%	0.0%		55.0%	15.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%		68.3%	5.3%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%	
就業していない	36	16	11	4	3	1	1	0.9	17	11	4	4	1	0	0.9	18	10	4	3	0	0	0.8
	100.0%	44.4%	30.6%	11.1%	8.3%	2.8%	2.8%		46.0%	29.7%	10.8%	10.8%	2.7%	0.0%		51.4%	28.6%	11.4%	8.6%	0.0%	0.0%	

13.患者さんが家にいるので、友達を自宅に呼びたくても呼べないと思ったことがありますか。

	導入時								1ヶ月後								3ヶ月後							
	合計	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	導入時 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	1ヶ月後 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	3ヶ月後 平均点		
全体	58	40	11	1	1	3	2	0.5	37	10	4	3	4	0	0.7	43	5	2	8	0	0	0.6		
	100.0%	69.0%	19.0%	1.7%	1.7%	5.2%	3.4%		63.8%	17.2%	6.9%	5.2%	6.9%	0.0%		74.2%	8.6%	3.4%	13.8%	0.0%	0.0%			
就業している	19	12	3	1	1	1	1	0.7	15	1	1	1	2	0	0.7	16	0	1	2	0	0	0.4		
	100.0%	63.0%	15.8%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%		75.0%	5.0%	5.0%	5.0%	10.0%	0.0%		84.2%	0.0%	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%			
就業していない	36	26	7	0	0	2	1	0.4	22	8	3	2	2	0	0.8	24	5	1	5	0	0	0.6		
	100.0%	72.2%	19.4%	0.0%	0.0%	5.6%	2.8%		59.5%	21.6%	8.1%	5.4%	5.4%	0.0%		68.5%	14.3%	2.9%	14.3%	0.0%	0.0%			

14.患者さんは「あなただけが頼り」というふうにみえますか。

	導入時								1ヶ月後								3ヶ月後							
	合計	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	導入時 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	1ヶ月後 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	3ヶ月後 平均点		
全体	58	20	12	5	10	10	1	1.6	19	14	11	6	8	0	1.5	19	12	8	10	9	0	1.6		
	100.0%	34.6%	20.7%	8.6%	17.2%	17.2%	1.7%		32.8%	24.1%	19.0%	10.3%	13.8%	0.0%		32.8%	20.7%	13.8%	17.2%	15.5%	0.0%			
就業している	19	8	3	1	3	4	0	1.6	10	4	2	2	2	0	1.1	9	3	3	4	0	0	1.1		
	100.0%	42.0%	15.8%	5.3%	15.8%	21.1%	0.0%		50.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%		47.3%	15.8%	15.8%	21.1%	0.0%	0.0%			
就業していない	36	11	8	3	7	6	1	1.7	9	10	8	4	6	0	1.7	9	8	5	5	8	0	1.9		
	100.0%	30.6%	22.2%	8.3%	19.4%	16.7%	2.8%		24.3%	27.1%	21.6%	10.8%	16.2%	0.0%		25.6%	22.9%	14.3%	14.3%	22.9%	0.0%			

15.今の暮らしを考えれば、介護にかける金銭的な余裕はないと思うことがありますか。

	導入時								1ヶ月後								3ヶ月後							
	合計	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	導入時 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	1ヶ月後 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	3ヶ月後 平均点		
全体	58	23	11	12	8	2	2	1.2	24	19	11	3	1	0	0.9	30	14	7	4	3	0	0.9		
	100.0%	39.7%	19.0%	20.7%	13.8%	3.4%	3.4%		41.3%	32.8%	19.0%	5.2%	1.7%	0.0%		51.7%	24.1%	12.1%	6.9%	5.2%	0.0%			
就業している	19	9	3	3	3	0	1	1.0	9	8	2	1	0	0	0.8	14	2	2	0	1	0	0.5		
	100.0%	47.3%	15.8%	15.8%	15.8%	0.0%	5.3%		45.0%	40.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%		73.7%	10.5%	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%			
就業していない	36	13	7	8	5	2	1	1.3	15	10	9	2	1	0	1.0	15	10	4	4	2	0	1.1		
	100.0%	36.1%	19.4%	22.2%	13.9%	5.6%	2.8%		40.6%	27.0%	24.3%	5.4%	2.7%	0.0%		42.9%	28.6%	11.4%	11.4%	5.7%	0.0%			

19.患者さんに対して、どうしていいかわからないと思うことがありますか。

	導入時								1ヶ月後								3ヶ月後							
	合計	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	導入時 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	1ヶ月後 平均点	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	3ヶ月後 平均点		
全体	58	27	19	7	4	0	1	0.8	29	20	5	4	0	0	0.7	34	14	7	1	1	1	0.6		
	100.0%	46.5%	32.8%	12.1%	6.9%	0.0%	1.7%		50.0%	34.5%	8.6%	6.9%	0.0%	0.0%		58.7%	24.1%	12.1%	1.7%	1.7%	1.7%			
就業している	19	12	4	2	1	0	0	0.6	9	9	1	1	0	0	0.7	11	5	2	0	0	1	0.5		
	100.0%	63.1%	21.1%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%		45.0%	45.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%		57.9%	26.3%	10.5%	0.0%	0.0%	5.3%			
就業していない	36	14	13	5	3	0	1	0.9	20	10	4	3	0	0	0.7	20	9	4	1	1	0	0.7		
	100.0%	38.9%	36.1%	13.9%	8.3%	0.0%	2.8%		54.1%	27.0%	10.8%	8.1%	0.0%	0.0%		57.1%	25.7%	11.4%	2.9%	2.9%	0.0%			

20. 自分は今以上にもっと頑張って介護するべきだと思うことがありますか。

	導入時							導入時 平均点	1ヶ月後							1ヶ月後 平均点	3ヶ月後							3ヶ月後 平均点
	合計	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答		思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	思わない		たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答			
全体	58	25	14	14	1	3	1	1.0	27	20	9	1	1	0	0.8	28	17	12	0	1	0	0.8		
	100.0%	43.2%	24.1%	24.1%	1.7%	5.2%	1.7%		46.6%	34.5%	15.5%	1.7%	1.7%	0.0%		48.3%	29.3%	20.7%	0.0%	1.7%	0.0%			
就業している	19	10	4	3	1	1	0	0.9	11	7	2	0	0	0	0.6	12	5	2	0	0	0	0.5		
	100.0%	52.5%	21.1%	15.8%	5.3%	5.3%	0.0%		55.0%	35.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%		63.2%	26.3%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%			
就業していない	36	14	8	11	0	2	1	1.1	16	13	6	1	1	0	0.9	15	12	7	0	1	0	0.9		
	100.0%	38.8%	22.2%	30.6%	0.0%	5.6%	2.8%		43.3%	35.1%	16.2%	2.7%	2.7%	0.0%		42.8%	34.3%	20.0%	0.0%	2.9%	0.0%			

21. 本当は自分はもっとうまく介護できるのになあと思うことがありますか。

	導入時							導入時 平均点	1ヶ月後							1ヶ月後 平均点	3ヶ月後							3ヶ月後 平均点
	合計	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答		思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	思わない		たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答			
全体	58	35	12	9	1	0	1	0.6	37	14	7	0	0	0	0.5	32	19	6	1	0	0	0.6		
	100.0%	60.4%	20.7%	15.5%	1.7%	0.0%	1.7%		63.8%	24.1%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%		55.2%	32.8%	10.3%	1.7%	0.0%	0.0%			
就業している	19	13	1	4	1	0	0	0.6	14	4	2	0	0	0	0.4	13	4	2	0	0	0	0.4		
	100.0%	68.3%	5.3%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%		70.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%		68.4%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%			
就業していない	36	21	9	5	0	0	1	0.5	23	10	4	0	0	0	0.5	17	14	3	1	0	0	0.7		
	100.0%	58.3%	25.0%	13.9%	0.0%	0.0%	2.8%		62.2%	27.0%	10.8%	0.0%	0.0%	0.0%		48.5%	40.0%	8.6%	2.9%	0.0%	0.0%			

22. 全体を通してみると、介護をするということはどうくらい自分の負担になっていると思いますか。

	導入時							導入時 平均点	1ヶ月後							1ヶ月後 平均点	3ヶ月後							3ヶ月後 平均点
	合計	思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答		思わない	たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答	思わない		たまに	時々	よく	いつも思 う	無回答			
全体	58	8	27	16	6	0	1	1.4	12	27	12	7	0	0	1.2	10	24	16	8	0	0	1.4		
	100.0%	13.8%	46.6%	27.6%	10.3%	0.0%	1.7%		20.7%	46.5%	20.7%	12.1%	0.0%	0.0%		17.2%	41.4%	27.6%	13.8%	0.0%	0.0%			
就業している	19	3	9	5	2	0	0	1.3	6	9	2	3	0	0	1.1	6	7	4	2	0	0	1.1		
	100.0%	15.8%	47.4%	26.3%	10.5%	0.0%	0.0%		30.0%	45.0%	10.0%	15.0%	0.0%	0.0%		31.6%	36.8%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%			
就業していない	36	5	17	9	4	0	1	1.3	6	18	9	4	0	0	1.3	4	15	12	4	0	0	1.5		
	100.0%	13.9%	47.2%	25.0%	11.1%	0.0%	2.8%		16.2%	48.7%	24.3%	10.8%	0.0%	0.0%		11.4%	42.9%	34.3%	11.4%	0.0%	0.0%			

(5) まとめ

「福祉用具利用者への援助状態」について

- ◆ 本調査での福祉用具利用者への援助状態は、3時点の点数を比較可能な8項目の合計点をみると、導入時6.4から3ヶ月後は5.2へ減少し、全体としては自立の方向へ援助の度合いが低下したことを示している。
- ◆ 導入時点と比べて3ヶ月後においては8項目中7項目で点数の減少（援助状態の軽減）が見られた。屋外での移乗援助など多くの項目で自立方向へシフトする傾向が見られた。本調査での福祉用具利用者は福祉用具以外のサービスを利用していない人たちであることから、福祉用具利用が自立支援に効果があることが推測される。

「Zarit 介護負担尺度」について

- ◆ Zarit 介護負担尺度の22項目の合計点をみると、福祉用具導入時の21.8から3ヶ月後は19.7へ減少し、全体としては負担が軽減される方向へ変化したことがわかった。
- ◆ 本調査は他のサービス利用での影響を排除するため、福祉用具のみの利用者限定して実施したことから、この点数の変化は福祉用具利用の効果と考えられる。介護負担の軽減は、自立支援と並んで福祉用具利用の目的であり、本調査の結果から福祉用具利用は、介護負担軽減という目的を十分に達成していると推測する。
- ◆ 介護者の就業状態別でみると、就業している介護者の方が、介護負担点数の軽減が大きい傾向が見られた。介護対象者と一緒にいる時間が少ない方がストレスを感じない傾向、あるいは福祉用具利用による負担軽減効果が大きくなる傾向が推察される。
- ◆ Zarit介護負担尺度の項目は介護負担を、心理的負担、身体的負担、経済的困難に分かれて全体的な負担という総括質問とともに尋ねるものであり、項目別に見ると「将来への不安」「あなたに頼っていると思う」という心理的負担に軽減が見られ、他の心理的負担に係る項目においても軽減している項目が見られた。厚生労働省「国民生活基礎調査」によると、同居の主な介護者の悩みやストレスの原因は、「家族の病気や介護」が男女ともに最も高い割合であり、介護の家族の負担を軽減することが急務であると言える。本調査の利用者の平均介護度は、必ずしも高いとは言えないが、それにもかかわらず、介護する家族にとっては一定の負担、とりわけ心理的負担があることが分かり、かつ、福祉用具を利用することで心理的負担、ストレスを軽減できることが分かった。
- ◆ これらの調査結果をまとめた結論として、福祉用具の利用は介護負担の軽減に資すると考える。

『Zarit 介護負担尺度』を用いた 福祉用具の効果検証に関する調査

平成28年3月 発行

発行者 一般社団法人日本福祉用具供給協会
〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-15
TEL 03-6721-5222
FAX 03-3434-3414
